

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292800016		
法人名	特定非営利活動法人エバーグリーンクラブ		
事業所名	グループホームエバーグリーンクラブ		
所在地	千葉県鴨川市太海2175-1		
自己評価作成日	平成24年2月16日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ウェルビーイング		
所在地	千葉県木更津市富士見1-2-1アクア木更津ビル8F木更津市テレワークセンター内		
訪問調査日	平成24年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員間の和をうたった従業員心得を、朝礼時に毎日唱和している。コミュニケーションをうまく図ることで情報の共有と周知徹底が行われ、更には職員間の信頼関係も築かれてい。それが実践できればホーム全体の雰囲気も良くなって、入居者の皆様にとっての良質なケアにもつながっていく。また職員間だけでなく、各入居者やご家族、近所の皆様との信頼関係こそが、グループホームの円滑なサービスを提供していく上での欠かせないものとして、大切にしている。近所との信頼関係を築く上では、挨拶を交わしたり行事に参加したりして、日頃からの交流を心がけている。また運営推進会議において、より多くの地域住民やご家族の方々に参加していただき、さまざまな立場からの意見をいただき、事業所内の問題解決の糸口にしている。同時に近所との交流を深めることで、緊急時や災害時の事業所の応援者となっていたりいただけるよう働きかけている。なお事業所内においても夜間は、各階の夜勤者1名ずつに加え、宿直者2名を配置して、緊急時や災害時に備えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設はおしゃれなベンション風の建物です。ドアを開けると季節のお花が飾られている。広い空間で利用者さんが寛いでいる。理念を事業所内に掲示、サービスにつなげている。施設内はバリアフリーで歩き易い工夫がされています。地域とのコミュニケーションは大変良く、散歩の際には挨拶などを交わしている。食事は楽しみの一つ。料理人が腕を振って美味しい食事を提供して頂いています。ケアマネージャーが主体となり、介護計画を作成している。災害対策は避難訓練、備蓄品。災害は何か起こるかわかりません。地域の人達と連携を取れる様に準備をしている。市町村とも連携が取れる様に2ヶ月に1度の運営推進会議を行っている。たくさんの方に参加して頂く様に働きかけている。医療は利用者さんの安全・安心の為に24時間体制を図っている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事業所内に大きく掲げている。また入居所案内にも記載されている。 そして管理者は毎日のミーティング時において、職員への浸透を図るべく、理念を念頭に置いた『従業員心得』を出勤者全員で唱和している。	理念を入居所案内に掲載。サービスを目指す上で大切な役割と考えている。 従業員心得として唱和し、理解をしている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ほぼ毎日の散歩の実施時に、まずは挨拶から地域の方々とのコミュニケーションを図っている。 また回覧板から得た情報や区長さんからお計らいにより、太海駅構内の花壇の清掃や地区の敬老会に参加させて頂いた。	外に出る機会を多く作っている。散歩は地域の方と出会う場所。声かけをし、コミュニケーションをとる様心掛けている。近くにあり、太海駅の掃除、地域のつながりを積極的に行っている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度も地域の皆さんや他の事業所の職員の方々と交えた講習会を計画したが、予定していた講師の先生との日程調整が折り合わぬまま年度末を迎えるに至る。実施を目指し、調整・検討中である。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度必ず会議を実施して委員からの意見を取り入れ、業務の見直しを図ったり事業運営およびサービスの向上に活かしている。	運営推進会議を2ヶ月に1度実施。 地域の方々からの意見・質問を受け、サービスの向上になるよう努力をされている。	運営推進会議の参加者を、色々な方の参加を期待したい。又、意見を頂き、サービスに結び付けて欲しいです。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	業務運営などについて、市に積極的に相談し助言や指示をいただいたり、また市町村担当者から、研修会開催の案内をいただいたり等の協力を得られる関係を築いている。	市に積極的に運営に関し相談されている。市町村担当者から、研修会等勉強の場を支援して頂いている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内で勉強会を行い、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。 玄関の電子錠以外のドアの施錠はせずに、自由に入出入り出来るようにしている。	身体拘束の勉強会を実施し、安全を確保しながら自由な暮らしが出来る様に工夫している。又、虐待の防止にも心がけ、ミーティング・カンファレンスを行っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	事業所内で定期的に管理者ミーティングやケアカンファレンスを開いて、虐待防止に努めている。また「虐待防止係」の主任ヘルパーの二名が、常に入居者やヘルパーの動向に注意を向けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護を必要とされる利用者に対しては、いつでも活用できるような支援の体制を整えているが、実際にそれらの制度について学ぶ機会は設けられなかった。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には必ず二人の職員で立ち会い、口頭と文書にて十分な説明を行って、利用者や家族に理解・納得をしていただけるよう努めている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所に訪問しやすい、意見しやすい環境づくり、即ち、日頃からの対話やコミュニケーションを図りながら、密な関係を形成するように努めている。	利用者家族からの意見、要望を表せるように努力している。又、不満や、要望を運営に反映させるようにしている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	トップダウン式の上意下達よりも、ボトムアップによる職員形成を図り、一人一人が生き活きた職場環境になるべく、職員の小ミーティングは毎日行っている。	職員の意見を聴く努力をしている。職員の小ミーティングを毎日行っている。そして気づきやアイデアを取り入れるようにしている。又、他の事業所の取り組み、良い部分など参考になっている。	同業者と交流をする機会を作り、相談したり、されたりする関係を作りたいです。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自発的且つ能動的な就業意識を抱けるような職場環境づくりを目指し、事業所内の行事や会議、内外の研修会の出席状況等を確認して、勤務状況を把握するとともに、給与の支給額に反映している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのレベルにあった研修を選定し、勤務調整を行って受講する機会を設け、個々のスキルアップに努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同郡市内のグループホーム間において、集う機会を定期的に設け、意見交換している。そこから得た他事業所の取り組みや工夫を事業者内に取り入れている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前に入院先の病院や自宅を訪問し本人と面談して、本人の不安や要望等を聴くようにしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前事前に関係と面談して、家族の不安や要望等を聴く機会を設けている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その段階で必要と思われる福祉用具等の選択を介護ショップの担当者へ相談したり、遠方で暮らす家族に代わって持病に対する定期受診の付添い同行を行っている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	音楽を聞きながら一緒にお茶を飲んだり話をしたり、時には人生の悩みを聴いていただくなどして、関係を築いている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に本人の現状を家族へ報告している。必要に応じて一時帰宅や外出支援などの家族の協力を得たり、本人の希望時には自宅に電話して家族の声を聞いて、安心していただいたりしている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人の面会を歓迎し、本人との触れ合いの場を大切にしている。また地域行事への参加をしたり、自宅方面へドライブするなどして、関係の継続に努めている。	利用者一人ひとり思いや希望を、大切に思っている家族や知人などの面会を歓迎している。又、行事の参加やドライブ、一人ひとりの思いを取り入れる努力をされている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間のフィーリングの良し悪しを把握し席順に配慮したり、リビングで利用者同士が話しやすい雰囲気作りを心がけるようにしている。食事やおやつ時には利用者間で誘い合い、手をとり合って食堂へ移動したり車イスの利用者の車イスを押して下さる利用者の対応を事故のないよう見守りしたりして、その関係性を大切にしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても転院先の病院へ面会に出向いたり、家族とは地域住民としての関わり等で関係を継続するように心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の入院先の病院や自宅へ訪問したり、本人・家族との面談により情報収集して、希望や意向の把握に努めている。できるだけ、本人の希望に添った意向を大切にしている。	利用者がどこでどの様に暮らしていたか、家族の面談や生活歴、環境等の状況を把握し、利用者が暮らしやすくする為の努力をしている。又、評価表の見直し、常に良いサービスが出来る様に心掛けている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の家族との面談や、それまでの担当のケアマネジャーやケースワーカーから、生活歴や生活環境等の状況を聞いて、その把握に努めている。			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルサインチェックや定期的なADL評価表の見直しおよびケースカンファレンスの実施を通して、一人ひとりの現状の把握に努めている。そして月に一回判定会を設けて入居者全員の介護レベルに変化がないかその都度確認している。			
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネジャーが主体となり、本人・家族や必要時には訪問看護師や福祉用具取扱事業所担当者で話し合い、それぞれの意見を取り入れて、ケアマネ2人、主任ヘルパー2人の計4人で介護計画を作成している。	利用者の家族、介護・看護スタッフ等意見を取り入れ、個別の介護計画を作成している。又、業務の引継ぎをし、申し送りを行っている。変化が見られた時は、サービスの見直しを行っている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの内容をひとり一人個別に記録し、業務の引き継ぎ時における申し送りを通して情報を共有している。そして変化があった際の介護計画の見直しとその後のケアに反映させている。			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や面会にみえた家族の急な要望に対しても、できる範囲で対応するよう取り組んでいる。例えば、急遽外泊の希望があった際にでも受け入れたり、外出希望があれば同行したり、また好みの物を本人に代わって買ってくるなどして、できるだけ希望に添うようにしている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームより徒歩1～2分である太海海岸がコースであり、その真っ青な海を眺めながらウォーキングしている。そして普段の感謝の意を込めて、太海海岸の美化作業に参加するようにしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要時に協力医療機関の専門医やかかりつけ医に相談したり、職員が家族の代わりに受診に同行したりして、支援している。また市立病院の訪問看護や訪問診療を定期的に受けて、健康管理も行っている。	本人がなじみの医師にかかる様支援している。定期的を受診を受けている。24時間体制で協力医療機関にお願いをしている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の観察の中でとらえた健康面や身体機能の変化を普段から記録に残して、訪問看護時に看護師に報告・相談するようにしている。そして適切な受診の指示を仰ぎ、実行している。また契約社員として精神科認定看護師を雇用して、利用者の健康チェックと観察を行い、その情報を介護職へ提供するという体制を作っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には、ホームでの普段の生活状況を情報提供したり、入院中は定期的に面会に行き、現状把握に努めるようにしている。そして近隣の各医療機関の医師や看護師、ケースワーカーとは普段から気軽に相談できる関係作りに努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化する前に普段の観察から本人の異変に気づき、家族へ報告・説明してから、関係医療機関や訪問看護師へ相談して指示を仰ぎ、受診するようにしている。また緊急時におけるシステムを構成して、リスクの高い入居者に対しては職員全員で注意が払うことができるような体制をとっている。	本人の異変に気づいた場合、家族への説明をしてから医療機関へ説明、常に緊急時における注意が払える様に体制をとっている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	誤嚥・窒息・急変時等に備えて、契約職員の看護師から定期的にレクチャーを受けて、訓練を行っている。また日々の健康状態の観察から嚴重な様子観察の必要な利用者についての状況報告を、深夜0時に毎日夜勤者からホーム長へ連絡している。そして夜勤者の他に宿直者1名を常時配置して、備えている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルを整備し災害時に備えて定期的に避難訓練を実施したり、管理者サイドのミーティング時には、その都度災害時の対策について話し合っている。また施設主催の研修会などの場で、地域の方々へ災害時の協力をお願いしている。そして地元消防団との交流を図って、災害時における更なる協力を得られるように努めている。	災害時に備えて避難訓練を実施している。地元消防団の協力を得て、利用者さんは安全に避難して頂くように努力をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で互いに意識して常に言葉遣いには注意している。行き届かない対応が見られた場合はその都度管理者が注意し、一人ひとりを尊敬し、それにふさわしい対応を心がけるよう指導している。	人格を尊重することは、尊敬の言葉遣いになる。誇りやプライバシーを損ねない様にスタッフ一同で注意している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から本人が、自身の思いや希望を気軽に話せるような雰囲気作りを心がけている。物事を進める際には、まず本人へどうしたいのか問いかけてから始めるようにしているが、自己決定ができない利用者に対しては、必ず本人に説明してから支援するようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや好みを大切にすることを心がけ、本人の意思を確認しながら、その日の日程を職員がたて、本人に説明してから取り組むようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性の入居者は、化粧をしたり、その日に着用する洋服を好みに合わせて自分で選んでいただけるように働きかけている。男性の入居者は、自身の電気カミソリでヒゲを剃ったり、訪問理容を取り入れて希望時に散髪できるようにしている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳や後片付けは職員と一緒にしている。またおにぎりをにぎる・団子を丸めるなどの簡単な調理をする機会をレクリエーションの中に取り入れて、実施するようにしている。定期的に食べたいものを各入居者へ聞き取り調査して、メニューに取り入れるようにしている。	食事が楽しみになる為に、簡単な調理のお手伝いをしている。食後も片付け等出来る事は皆で実施している。又、体のことを考え、栄養摂取、水分確保の支援をしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量と水分量はその都度把握し記録に残し、摂取状況に合わせて、補うように支援している。食事形態も、体調や身体状況に合わせ、無理なく摂取できるように ミキサー食、粥食、刻み食等と配慮している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後各利用者が自主的に、あるいは見守り、一部介助によって歯磨きを行っている。また入れ歯をはめている利用者は、夕食後職員が入れ歯を洗浄剤の中に入れて、夜間洗浄している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各利用者の排泄パターンに応じて、自主的にトイレへ行かない利用者はトイレ誘導し、できるだけトイレで排泄されるよう支援している。その為に毎日排泄に関しての記録を観察表に記録している。またその利用者の排尿量等を把握して、パットを選んでいる。	自主的にトイレで排泄できる様、スタッフで支援されている。記録も残す。日頃から散歩、水分は必ず取り、排便のコントロールをしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃から水分を多めに摂ったり、散歩に出かけたりするように利用者に勤めている。また便秘時においては、排便状況を主治医に報告し下剤の調節の指示を仰いで、排便コントロールしている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的には順番に入浴を行っているが、なるべく本人の希望に応じて、好きな時に入浴できるように配慮している。入浴時には入浴剤を使用したり、入浴後にお茶を飲んでいただいたり、なるべく入浴を楽しんでいただろう努めている。	本人の希望に合わせた時間に入れる配慮に勤めている。入浴時は、水分補給を必ず心がけている。好きな時間に休息を取り、清掃を毎日行う事にしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく本人の希望に応じ、食事やおやつの時間でも休まれていたような時は、無理にお声かけしないよう、配慮している。また夜間はなるべく安眠できるように、以前まで深夜に行っていた廊下やリビング等の清掃は、日中に行うよう業務の見直しを図った。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケアマネ2人が服薬管理し、一人ひとりの服用している薬の内容の把握に努め、症状に変化があった際には、かかりつけ医へ報告し指示を得ている。また投薬時は2人の職員で確認し合ってから服用していただくようにしている。服薬を拒まれる利用者に対しては、薬を粉砕したり、水に溶かしたりと工夫している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり、排泄物を入れる新聞紙を折ったり、また時には食事の材料の下準備をお願いして、日々の生活に張り合いを持っていただろう支援している。また毎月誕生日会や季節ごとの行事を実施したり、食事の際に季節の物を食べていただいたり楽しんでいただろう努めている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、短時間のウォーキングを日課にしている。また買い物支援なども定期的に行い、近所のスーパーへ買い物へ出かけたたり、軽食を楽しんでいただろうしている。本人が自宅の様子を見に帰りたい等の要望があった時も、なるべくその意思に添えるように努めている。	一人ひとりの外出支援を行っている。買い物・軽食、外出する事で気持ち良くなり、その人らしい暮らしを保つ為の支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は基本的には事務所管理とし、各自必要な日用品等がある場合は、職員が購入している。しかし、買い物支援の時には、本人がお金を所持して使えるようにしている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からかかってくる電話は、必ず本人へつなげるようにしている。また本人が家族に電話をかけたいと言われる時も、家族の都合に配慮しながら、なるべく本人の希望に添うようにしている。手紙のやり取りについても、全く制限することなく、場合によっては便箋や切手の用意にも応じている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中過ごされる場の中心となるホールには、花を置いたり季節ごとの飾りをしたりと居心地の良い空間作りに努めている。またホール・食堂には、清潔感を持たせた空間づくりに配慮している。	日中過ごされる共有区間には、花を置いて有り、又、中庭には理事長の作られた寄せ植えの鉢が置かれ、居心地の良い場所になっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール・食堂においては、基本的に利用者の定位置が自然と決まっている。その為、各椅子やソファには、各自の好みの座布団やクッションを置くようにしている。また数名ずつ腰掛けられるソファを置いて、利用者同士でおしゃべりなどして過ごせるようにしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具の配置、また配置する家具や物は、すべて本人や家族の希望に応じて置いてある。しかし安全性や本人の使いやすさなどについては、アドバイスさせていただくこともある。	居心地の良い居室作り、希望に合わせた家具を置いている。家族にもアドバイスを頂いている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりや安全バーを設置したり、張り紙でトイレ等の場所がわかるようにしている。また各自の居室は、安全かつ本人が使いやすいように家具の配置等を工夫している。ベッド等も本人の身体レベルに合わせた物を選ぶよう、家族にもアドバイスしている。		